



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年4月27日

上場会社名 株式会社デファクトスタンダード 上場取引所 東
 コード番号 3545 URL <http://www.defactostandard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾嶋 崇遠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸尾 隆 TEL 03 (4405) 8177
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の業績 (平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	5,407	—	301	—	302	—	207	—
28年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	45.75	44.50
28年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	4,098	3,333	81.3	729.34
28年9月期	3,814	3,117	81.7	690.62

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 3,333百万円 28年9月期 3,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,850	12.7	430	29.9	430	36.2	297	43.5	65.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第2四半期累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加等を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	4,570,000株	28年9月期	4,512,500株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	－株	28年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	4,544,725株	28年9月期2Q	－株

（注）平成28年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 追加情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、新興国経済の減速や米国のトランプ政権誕生などにより、海外経済の先行きは依然として不透明な状況です。

当社が属するリユース業界では、引き続きスマートフォンを利用して個人間でリユース品を売買する“フリマアプリ”等の浸透により、市場が拡大傾向にあります。このような環境の下、当社はリユース・ブランド及びファッション商品等(バッグ、洋服、時計、アクセサリ、財布、その他)に特化した買取・販売を、「ネット専業リユース事業」及び「その他事業」として展開してまいりました。

買取面では、引き続き買取サイト「ブランディア」に関するマス広告を行ったほか、当社が保有する買取関連サイト群の利便性を高める改修を行い、各提携先と宅配買取をご利用頂くためのサービス連携を進めてまいりました。以上の結果、買取サイトの訪問者数が増加し、当第2四半期累計期間における買取申し込み件数は236,490件(前年同期比26.5%増)、買取金額は2,577,977千円(前年同期比10.4%増)となりました。

販売面では、比較的低単価な商品の出品に注力した結果、当第2四半期累計期間における売上総利益率は51.1%となりました。また、「ヤフオク!ベストストアアワード2016」では、年間ベストストア総合グランプリを獲得し、8年連続での受賞となったほか、平成29年3月には、新販路「Wowma!」への同時出品を本格的に開始いたしました。自社販路である「ブランディアオークション」の売上構成比は前事業年度における17.6%から当第2四半期累計期間においては19.3%へ向上いたしました。一方、前期後半に出品を開始した「Yahoo!ショッピング」も順調に売上高を伸ばし、同サイトの売上構成比は当第2四半期累計期間において7.7%となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は5,407,850千円、営業利益は301,022千円、経常利益は302,495千円、四半期純利益は207,927千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ネット専業リユース事業

ネット専業リユース事業については、引き続き広告宣伝の増加に基づき買取商品が増加した結果、販売が増加し、外部顧客に対する当第2四半期累計期間の売上高は4,930,935千円、セグメント利益(売上総利益)は2,644,879千円となりました。

② その他事業

その他事業については、外部顧客に対する当第2四半期累計期間の売上高は476,914千円、セグメント利益(売上総利益)は119,055千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて236,305千円増加し、3,838,434千円(前事業年度末比6.6%増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(同255,567千円の増加)によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて48,356千円増加し、260,418千円(前事業年度末比22.8%増)となりました。これは主に、有形固定資産の増加(同46,902千円の増加)によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて56,160千円増加し、668,975千円(前事業年度末比9.2%増)となりました。これは主に、未払法人税等の増加(同18,546千円の増加)によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて11,833千円増加し、96,033千円(前事業年度末比14.1%増)となりました。これは資産除去債務の増加(同11,833千円の増加)によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて216,667千円増加し、3,333,843千円(前事業年度末比7.0%増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同207,927千円の増加)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べて256,560千円増加し、2,583,848千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動により増加した資金は294,634千円となりました。

その主な増加要因は、税引前四半期純利益302,495千円、主な減少要因は、売掛金の増加45,265千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動により減少した資金は47,144千円となりました。

その主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出46,224千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動により増加した資金は8,740千円となりました。

その増加要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入8,740千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成29年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,326,868	2,582,435
売掛金	220,340	265,605
商品	995,002	929,063
貯蔵品	1,577	1,585
その他	58,340	59,745
流動資産合計	3,602,128	3,838,434
固定資産		
有形固定資産	139,224	186,126
無形固定資産	6,535	6,675
投資その他の資産	66,301	67,616
固定資産合計	212,061	260,418
資産合計	3,814,190	4,098,852
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,221	38,486
未払法人税等	100,616	119,163
その他	472,977	511,325
流動負債合計	612,814	668,975
固定負債		
資産除去債務	84,199	96,033
固定負債合計	84,199	96,033
負債合計	697,014	765,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,052	1,209,422
資本剰余金	1,121,079	1,125,449
利益剰余金	790,302	998,230
株主資本合計	3,116,434	3,333,102
新株予約権	741	741
純資産合計	3,117,176	3,333,843
負債純資産合計	3,814,190	4,098,852

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	5,407,850
売上原価	2,643,916
売上総利益	2,763,934
販売費及び一般管理費	
雑給	496,937
広告宣伝費	689,487
その他	1,276,486
販売費及び一般管理費合計	2,462,911
営業利益	301,022
営業外収益	
受取利息	11
為替差益	330
助成金収入	1,130
その他	1
営業外収益合計	1,472
経常利益	302,495
税引前四半期純利益	302,495
法人税、住民税及び事業税	100,361
法人税等調整額	△5,793
法人税等合計	94,567
四半期純利益	207,927

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	302,495
減価償却費	12,500
受取利息	△11
為替差損益(△は益)	△330
助成金収入	△1,130
売掛金の増減額(△は増加)	△45,265
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,932
買掛金の増減額(△は減少)	△735
未払金の増減額(△は減少)	48,285
その他の資産の増減額(△は増加)	4,067
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,722
小計	376,085
利息の受取額	11
法人税等の支払額	△82,592
助成金の受取額	1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△46,224
無形固定資産の取得による支出	△919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	8,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	256,560
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,583,848

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,930,935	476,914	5,407,850	—	5,407,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,930,935	476,914	5,407,850	—	5,407,850
セグメント利益	2,644,879	119,055	2,763,934	△2,462,911	301,022

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。